

『くすり・バイオ科』 Q & A

令和5年11月
富山県立富山北部高等学校

Q1. くすり・バイオ科ってどんなところですか。

A1. くすり・バイオ科は、「富山のくすり」をつくる製薬会社への就職するための勉強をする学科です。製薬会社ですぐに働くことができるよう、くすりの製造、分析、効果やバイオテクノロジーを学んでいます。普通科と比べて英語や数学の時間が少ないかわりに、くすりやバイオの勉強や実習をする時間があります。高校卒業後は、働いて自立したい人に向いている学科です。

Q2. くすり・バイオ科の「くすりとバイオ」に関する授業時間はどのくらいですか？

A2. くすり・バイオ科の1週間の授業時間は31時間です。くすりとバイオに関する授業は1年生で9時間、2年生で15～17時間、3年生で13～17時間です。2,3年生では半分が専門学科の授業です。他の工業高校と比べても多く、実践的な能力が身につくことが特徴です。

Q3. どのような勉強をするのですか？

A3. 「くすり」や「バイオ」は、**化学**を基本とした分野で、多くの実験を通して学びます。また実験で得られたデータを処理するためには、**数学**の力が必要です。

Q4. 2年生から選択制になっていますが、どう違うのですか？

A4. 製薬技術系、薬品科学系、バイオ化学系の3つの系があり、希望する進路で選択が変わります。就職希望者は、製造部門向けの製薬技術系か分析部門向けの薬品科学系を選びます。大学や看護、医療系の進学を希望する人はバイオ化学系を選びます。選んだ系によって、数学や専門教科の科目数が違います。バイオ化学系でも就職は可能ですが、製薬技術系・薬品科学系は私立大学や短大、専門学校など進学先が限定されます。1年生でコースを選択しますが、迷ったらぜひ相談してください。

Q5. 卒業後の進路はどうですか？

A5. 例年7割近くの生徒が就職し、他は進学します。卒業時には全員進路が決まっています。
就職は、ほぼ全員が薬品会社へ就職します。毎年、就職希望者の全員が内定をいただいています。**就職に強いのが、くすり・バイオ科の強みです。**
進学は、例年7～8人程度が四年制大学、他は医療・看護系の短大・専門学校に進学します。国公立大学へは、富山大学や富山県立大学などへ3～4名が合格しています。(※1クラス40名中)
薬剤師を目指すことも可能です。本校では私立大学の薬学部へ進学できます。卒業生には薬剤師の資格を取得して、有名企業の研究職や調剤薬局で活躍している人もいます。
3年次には、**登録販売者**の受験も可能です。くすり・バイオ科卒業生は、卒業後の実務経験が1年短縮されます。試験はかなり難しいので、早くからの対策が必要です。

Q6. たくさんの資格を取得できると聞いていますが？

A6. 国家資格である「**危険物取扱者**」は、卒業までに90%以上の生徒が乙種全類（1類～6類）を取得しており、全国でもトップレベルです。大学生でも合格が難しい「甲種危険物取扱者」に合格した生徒もいます。ほかに「**パソコン利用技術検定**」や「**初級バイオ技術者認定試験**」でも高い合格率を上げています。近年は**漢字能力検定**や**実用英語検定**、**QC検定**にも力を入れています。また、卒業後は就職した企業から申請することで「**毒劇物取扱責任者**」の資格を取得できます。
資格を取得した数は、高校在学時の努力のバロメーターといわれています。生徒はたくさんの資格を取るために朝や放課後に補習を受けるなど、日々努力しています。